

地域課題の2大テーマから、これからのサポート体制を討議しよう！

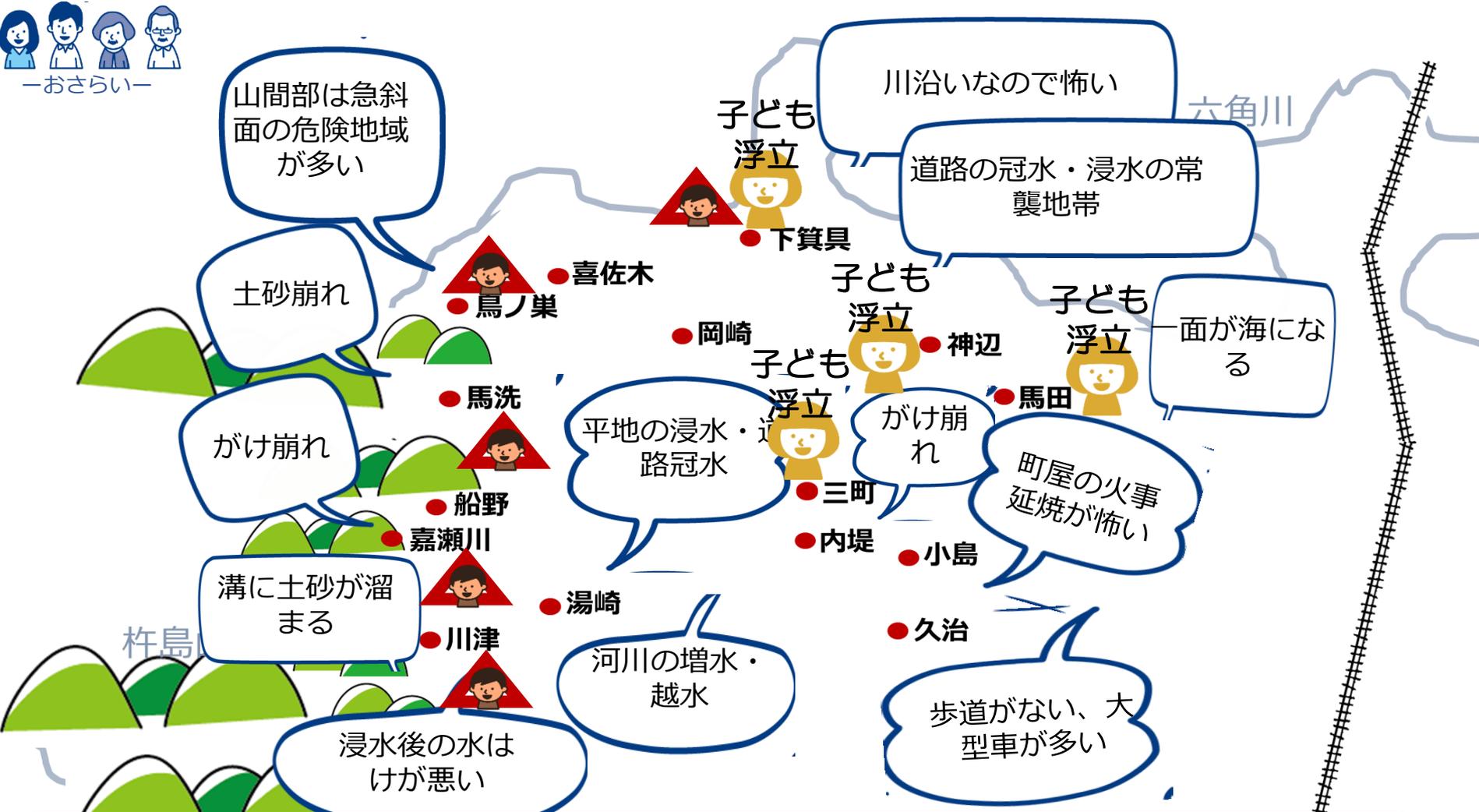
須古の今と未来から、 協議会を考える

進め方

- ① 地区の変化予測の情報共有
- ② 須古の今を2大テーマから確認する
- ③ 対応が必要となることをピックアップする
- ④ 将来人口をふまえたサポートと組織の形を探す



—おさらい—



- 須古全域で同時多発的な災害が起こりうる
- 次への繋がりができにくい状態になっている
- 人の減少が集まりや継承に影響をしている

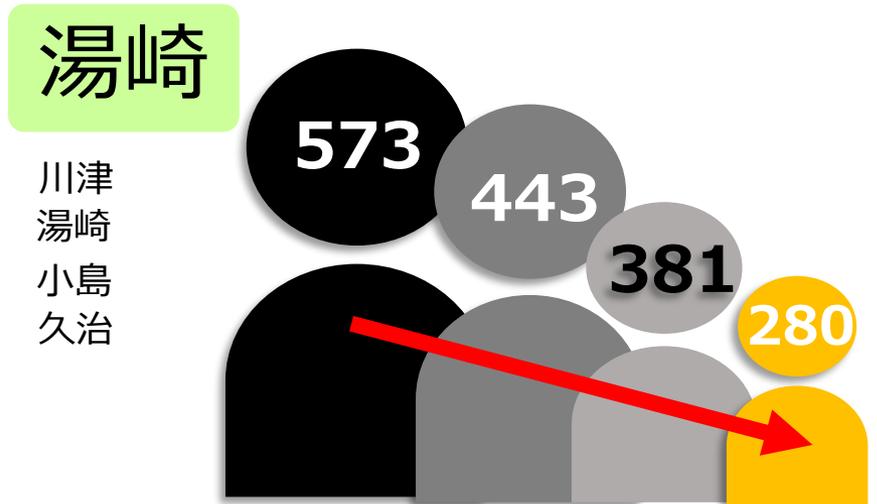
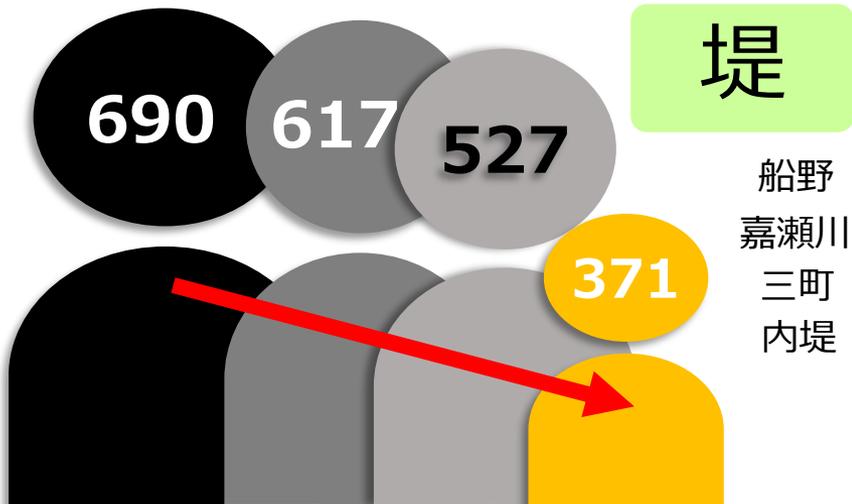
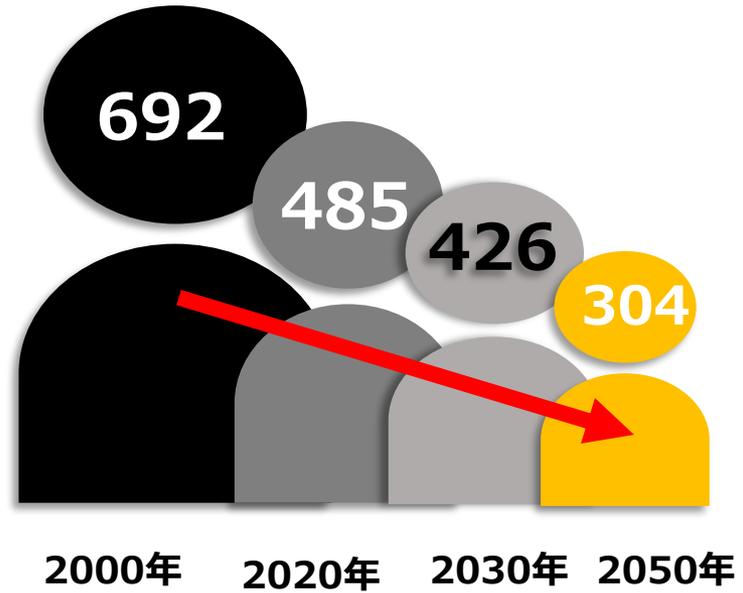
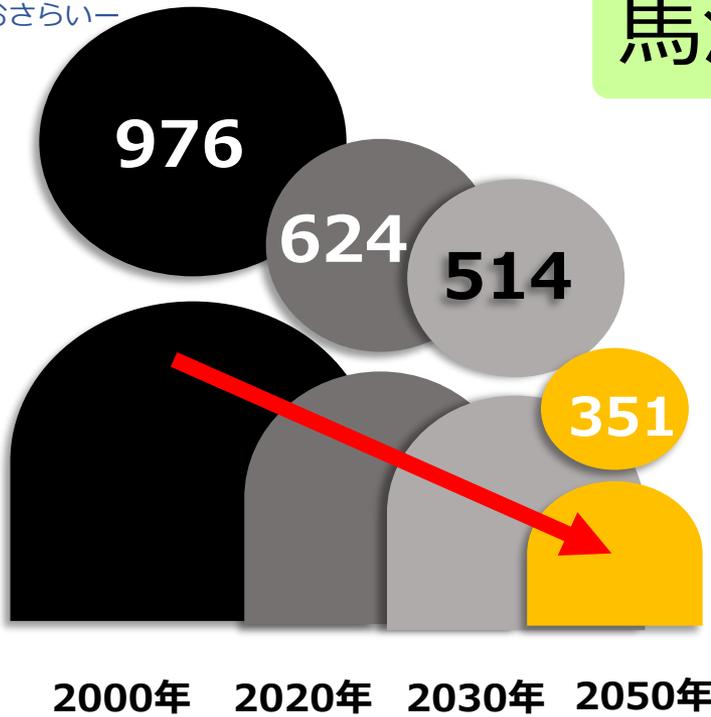
馬洗

馬洗
神辺
馬田

大渡

鳥の巣
喜佐木
岡崎
下箕具

地区ごとの 人口推移





—おさらい—

「今までのように」では地域の支え合いは、 持ちこたえられない！

条件

- 人口減少を前提としてこれからの地域あり方を探る
- 地域で解決できることを考える
- 地域の全員が関わっていけるような仕組みを探していく

継続のための視点

- 高齢者もできる地域の支え合いの形がある
- 人口構成にあった行事や活動の組み直しができる
- 地域の困りごとを少しずつ担い合う仕組みがある
- 地域在住者と地域非在住者が、一緒に困りごとを解決していくつながりができる



避けられない未来の状況

人口減少

世帯減少

ライフスタイル

地域役割の
負荷



—おさらい—

つくっていききたい須古の未来

協議会の方向性

2××年の 須古の様子



防災活動や災害の時には、お互いの地区を助け合っている

須古の魅力が「力」となって、人が寄る須古になっている



子どもを取り巻くこと（見守り・教育・伝承）が充実していて、子どもの育ちを見守る須古になっている



女性も子どもも高齢者も、一人ひとりが活躍している須古になっている

！条件！

- 人口減少を前提としてこれからの地域あり方を探る
- 地域で解決できることを考える
- 地域の全員が関わっていけるような仕組みを探していく



須古の暮らしの窓口のような 協議会

- ① ゆるやかなネットワークでつながり、お互いに協力しあえる関係性がある協議会
- ② 地域情報や生活情報を一番わかっている協議会
- ③ 地域や団体の課題を出しあい、解決していける協議会
- ④ 須古に何かがあった時に、それを投げかけができる協議会
- ⑤ 災害など大きなインシデントに細やかな対応がとれる協議会

須古に最もあった協議会組織の形って？



▶ゆるやかなネットワークでつながり、お互いに協力しあえる関係性がある協議会

▶地域や団体の課題を出しあい、解決していきける協議会

須古の暮らしの窓口 のような協議会

▶須古に何かがあった時に、それを投げかけができる協議会

▶地域情報や生活情報を一番わかっている協議会

▶災害など大きな出来事に細やかな対応がとれる協議会



どんな組織だったら、求めている
あり方に近づけるのかな？

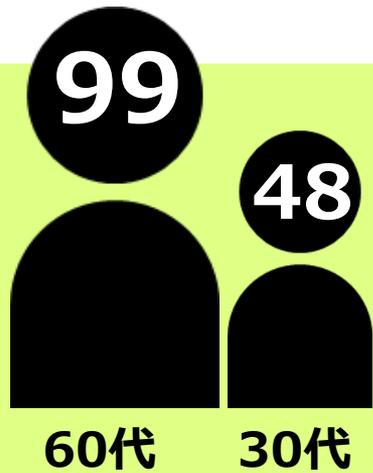


もう一度、2大課題をテーマにして、須古の状況を洗いだしてみよう！

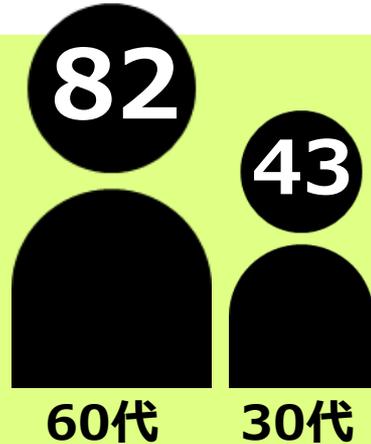
A) 地区の文化や伝統の継承は、今、どうなっていますか？

B) 災害が起きそうな時、起きた時の対応は充分ですか？

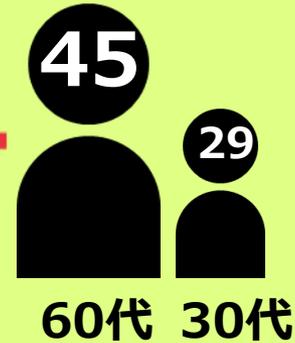
■地区ごとの年代人口変化①



2020年

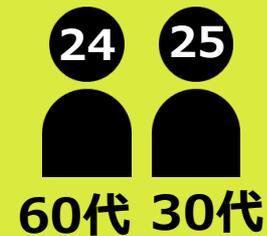
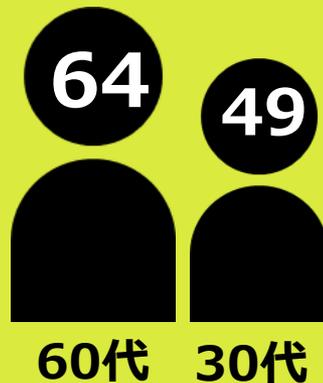
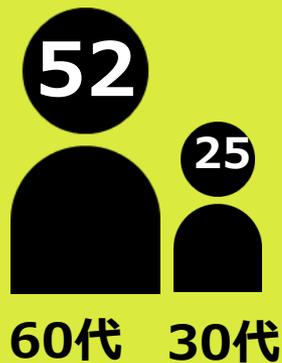


2030年
10年後です



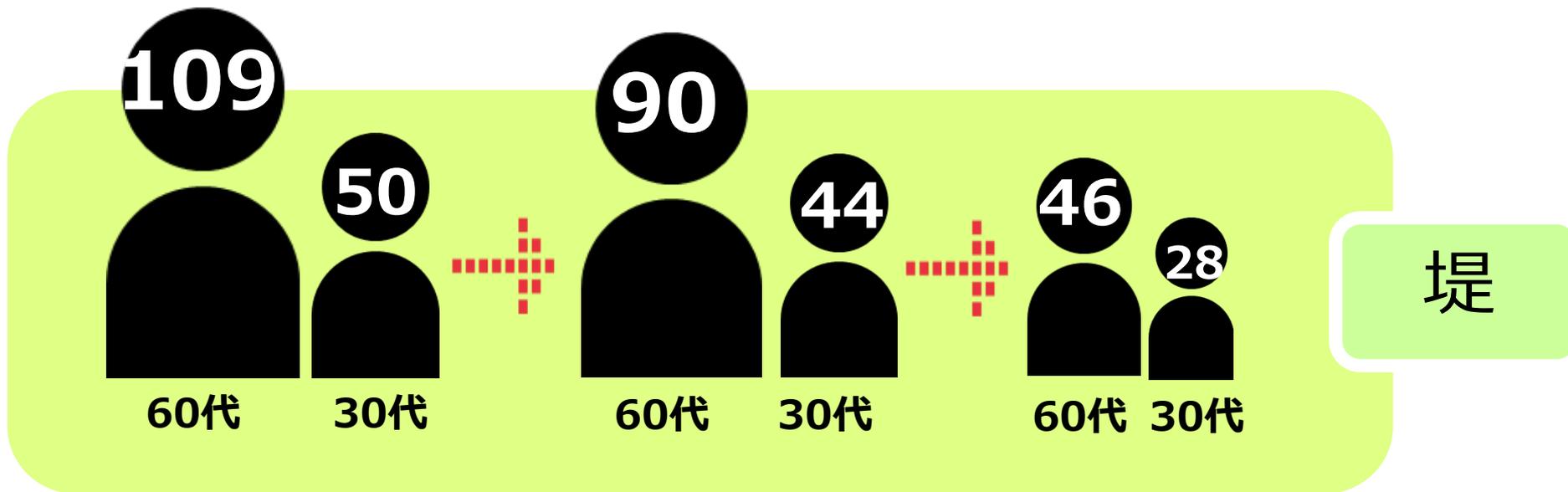
2050年
30年後です

馬洗



湯崎

■地区ごとの年代人口変化②



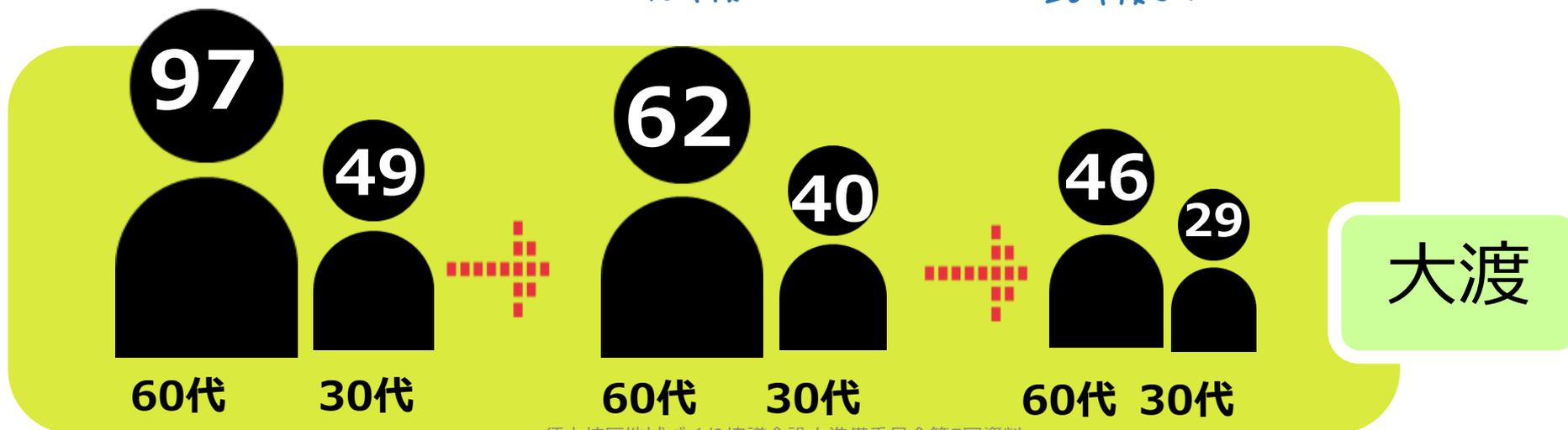
2020年

2030年

10年後です

2050年

30年後です



その時、何が起こって 協議会はどんなカンジ に動くのかなあ？

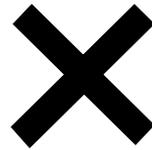


ちょっとだけ、想像してみましよう。急いで対応が必要な〇〇〇〇が起きました！

- ①対応を求める人は、まず、どこに言う？
- ②聞いた人はどこに伝える？
- ③伝わったら、どんな風に対応を準備する？
- ④準備したら、どんな風に行っていく？

■従来の組織の形を改良してみる

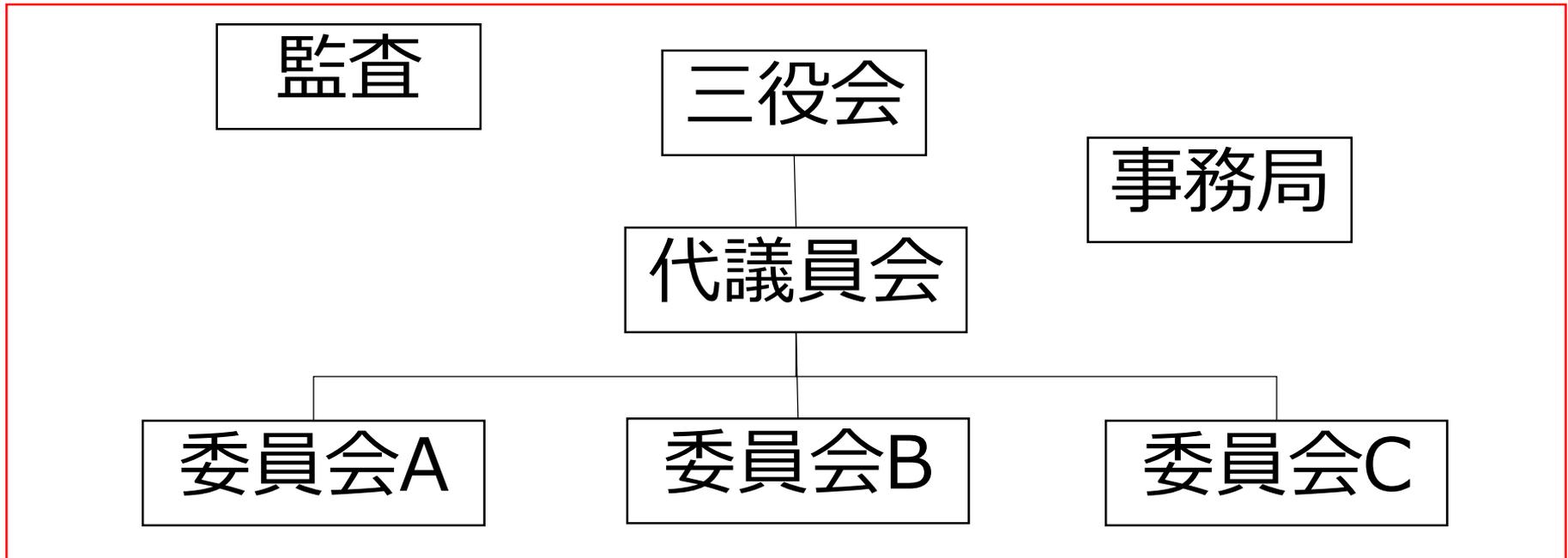
急いで対策が
必要な課題



多くの人の
関わりをつくる



幸せな須古の
暮らし



Point

例えば、地域の困りごとがどんなルートで協議会に入り、その対応のために協議会はどんな手順で動いていくのかを想像してみる ●いつでも情報が入ってくる？ ●すぐに協議ができる？ ●活動に必要なものがすぐに集められる？ ●他団体等と連絡が取れる？

■新しい須古の組織の形を考える

より多くの人々が地域の支え合い活動に関わることができ
る組織の形は？

